

関西大学 佐治スタジオ



地域再生・交流拠点としての空き家リノベーションの
実践と住民による空き家活用活動

関西大学佐治スタジオ
二代目室長 植地 惇
研究員 関谷 大志朗











空き家を取り巻く状況

平成26年7月29日に公表された「平成25年住宅・土地統計調査(速報集計結果 5年ごと)」(総務省統計局)によると、平成5年には448万戸であった空き家数は、その後も一貫して増え続け、**平成25年は820万戸、空き家率は13.5%に達している。**

一方で、産業廃棄物に占める建設業関係の廃棄物の割合は高く、放置しておけば老朽化が進み取り壊され産業廃棄物となる空き家も今後増加しつづけると考えられる。このような点から空き家の利活用＝空き家リノベーション(Renovation)を実践することは**3Rを推進する上で重要な取り組みであるだけでなく、過疎化や高齢化といった地域が抱える課題解決に向けた取り組みとしても重要である**と考える。

【事業の経緯】

- 2006年09月 日本建築学会近畿支部設計競技が佐治を舞台に実施
関西大学チームの提案が「丹波市長賞」に選出、提案の具体化へ
- 2007年04月 建築学科建築環境デザイン研究室で活動の開始
- 2007年06月 「関西大学佐治スタジオ」開設
- 2007年07月 関西大学と丹波市がまちづくりに関する連携協定を締結
- 2007年10月 平成19年度文部科学省現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代G P)に採択
- 2007年11月～「関西大学佐治スタジオ」空き家リノベーションなど滞在型講座の展開
- 2009年04月～地域主体による空き家活用の仕組みの検討ワークショップ
「本町の家(本町ゲストハウス)」の空き家リノベーション1期(2010年3月)
- 2010年03月 「現代G P」の事業終了
- 2010年04月 関西大学と丹波市の予算で現代G Pの事業継続
- 2011年01月 空き家活用サークル「佐治倶楽部」発足
- 2012年04月 関西大学が「佐治倶楽部」に関西大学佐治スタジオの運営管理を業務委託
- 2014年07月 「本町の家(本町ゲストハウス)」空き家リノベーション2期開始
- 2014年08月 関西大学長と丹波市長が2015年度以降の活動
- 2015年04月 関西まちづくり賞受賞
- 2015年10月 リデュース・リユース・リサイクル功労者等表彰 文部科学大臣賞受賞

2006年9月

そして、丹波へ。

日本建築学会近畿支部設計競技「シナリオ丹波」 丹波市長賞



想いの束

関西大学 建築環境デザイン研究室

関わり続けるという定住のカタチ

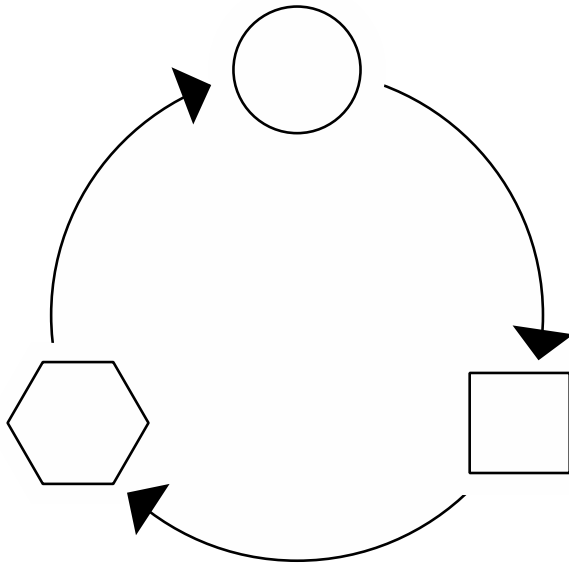
関わり続ける中でしか「見えてこない」ものがある
長い時間をかけながら「地域の再生」を考え続ける

21世紀の故郷作り

豊かな山河に囲まれた美しい故郷を持つことができる
将来にわたり訪れ、帰ることのできる故郷のような場所

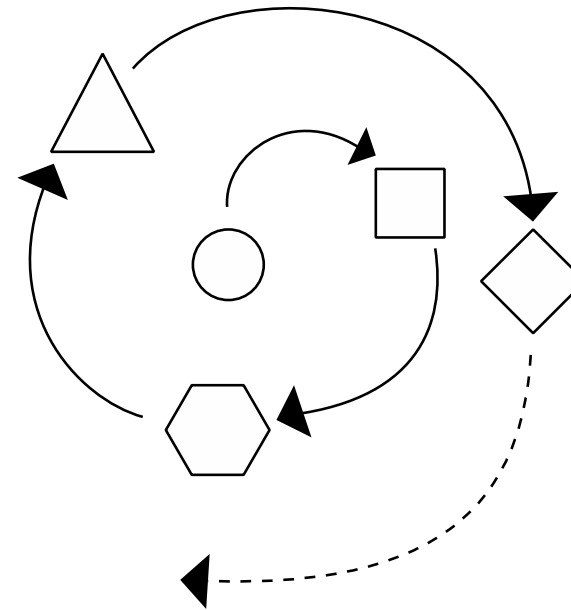


関西大学佐治スタジオの取り組みの考え方



3R=循環のカタチ

・繰り返しのサイクル



新しいR=渦巻きのカタチ

・継続と発展の流れ

Renovetion=既存の建物に大規模な改修工事を行い、
用途や機能を変更して性能を向上させたり付加価値を与えることである。



空き家リノベーション

- 空き家の改修を通じて、良好なまちなみ景観を作る
- 学生が主体的に改修を行う
- 小さく、簡単な改修方法
- 木材などの地域資源を活用する
- 改修の過程をオープンにする
- 「まちの居場所」作り
- 大きな地域環境をデザインする





関西大学佐治スタジオ



良好なまちなみ景観を考える。





解体作業
まずは元の姿に戻す



学生が主体的に改修を行う。



図面はない…考えながら議論しながら作る。

専門家と協力しながら。

時間をかけて作る。

改修プロセスをオープンにする。



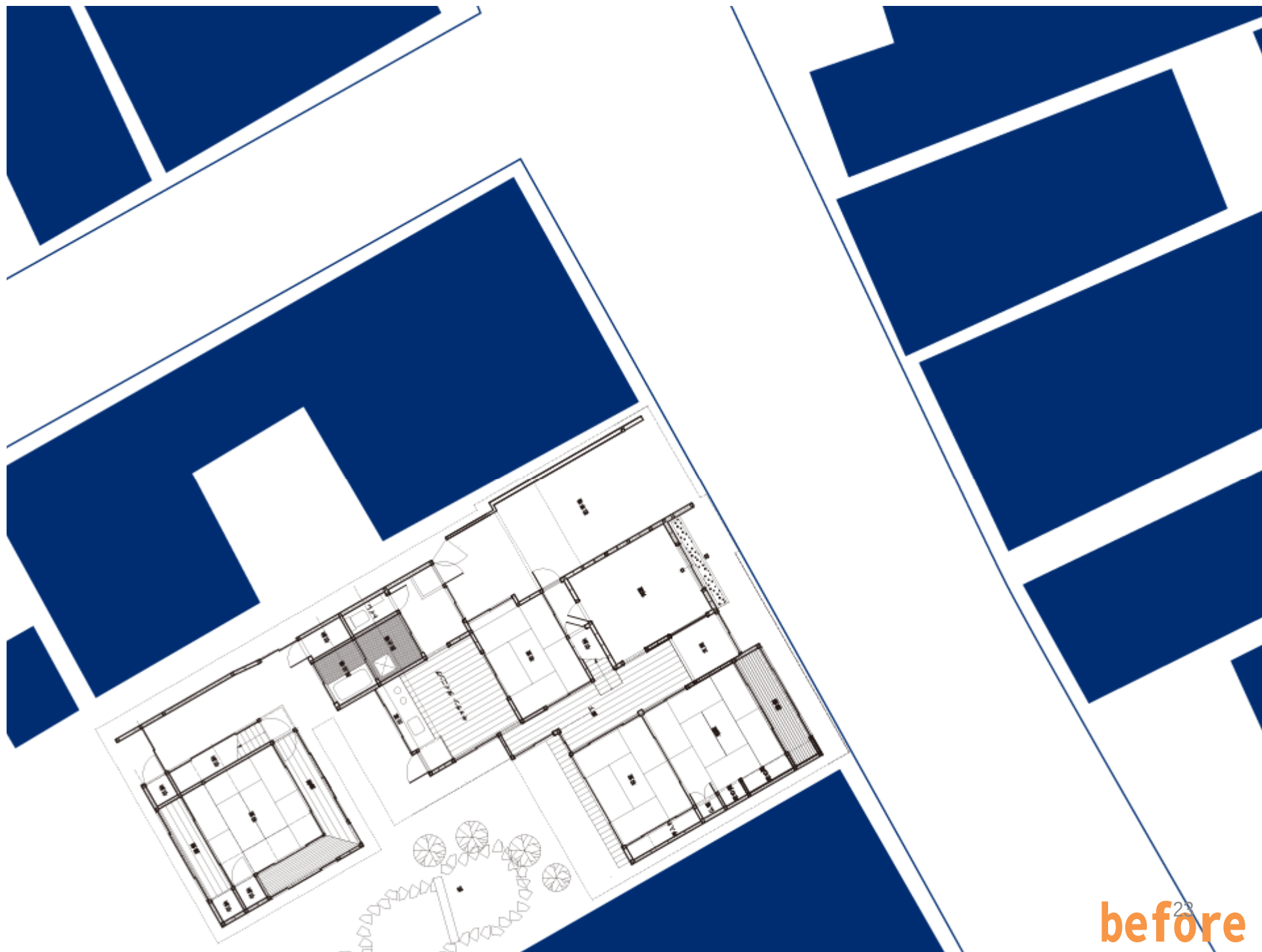
The collage consists of four photographs. The top-left photo shows a close-up of a wooden truss system with warm lighting. The top-right photo shows a large, flat wooden surface, possibly a floor or a large panel, with a black cable running across it. The bottom-left photo shows a wooden frame structure with a ladder and warm lighting. The bottom-right photo shows a wooden frame structure with a corrugated metal wall and a bright light source.

地域資源である 木材の活用と評価



天井 — 12mmの杉のピーリング材を使用





before²³



after





まちの「居場所」を作る。





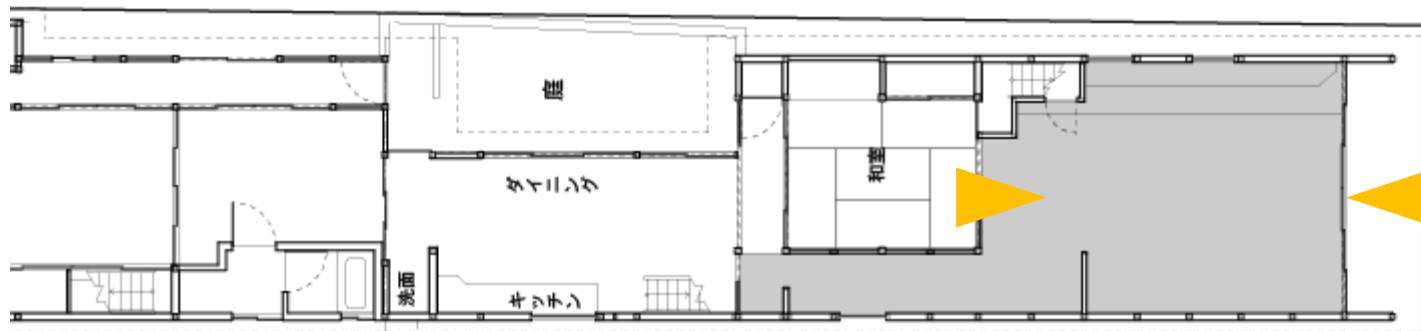


「暮らし」の気配がまちへ…。



本町の家





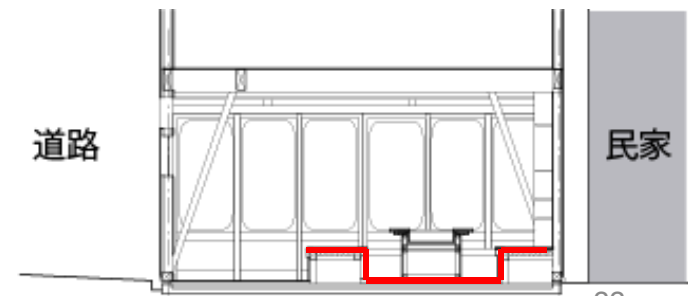
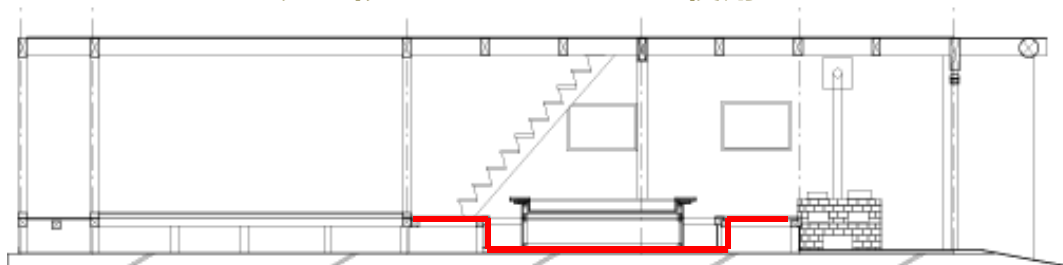
床、壁、天井と新建材で囲まれた内装





地元の木資源である厚み45mmの杉材の断熱性能を活かして、室内の熱環境を改善する

フローリング 杉 180×45 使用







2014年～2015年
1階和室・2階改修

まずは掃除。。。。









誇りを持てるということ。

A photograph showing a man and a woman in a room with tatami flooring. The man, wearing a blue jacket and glasses, is leaning over a low wooden table, pointing at a photograph. The woman, also in a blue jacket, is crouching on the tatami, looking at the photos. Several other photographs are laid out on the table. The background includes a white board and a window.



衣川會館



地域の意識が変わる。





学生の学びの拠点



2泊3日丹波に滞在し「地域再生」をテーマに活動



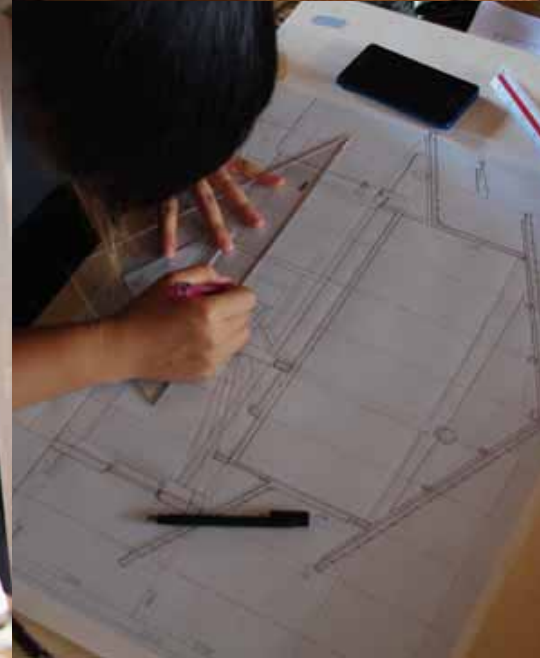


滞在型交流ワークキャンプ



滞在型交流ワークキャンプ





木造建築基礎講座 -丹波のタリアセン-

佐治スタジオでの滞在。

近所のお母さんたちが
学生の皆さんのために美味しい晩御飯を用意してくれますよ！
授業はもちろん、丹波に滞在すること自体がとても魅力的です。













2013年 風車一式 風立ちぬより「零戦」





お祭り後、材料となったかざぐるまを地域の方に配布した。
ごみが少なくなるだけでなく、地域にお祭りの余韻を残すことになった。



バラバラにでき、コンパクトになった。（1042個中500個以上がもらわれていった）





佐治農園re活用プロジェクト



農園整備





野菜作り 学生を巻き込んだ小屋作り 佐治農園でのWSイベント 地元農家さんとの繋がり



棚田で“お米づくり” してみませんか？

丹波市青垣町 稲土棚田オーナー事業
×
関西大学佐治スタジオ

僕たちも
今年から
初参加!!

お米作りには “88 の物語” がある…。

- 清流の里 “稲土” -

丹波市青垣町の稲土(いなづち)は、深い山々に囲まれ、豊かな清流の流れる田舎の原風景とも呼べる風景そして暮らしの営みが息づく地域です。その清らかな水と砂地(すなじ)と呼ばれる土に育まれた「稲土米」の産地で、昔ながらの棚田を利用したお米作りに取り組んでいます。

「米」という字は、八十八と書くほど米作りにはたくさんの手間がかかると言われています。今回は、その88の物語のうちの数手間を昔ながらの手法で体験させてもらいます！手での田植えに始まり、手刈りや稲木を作ったの天日干し等地元の方の指導のもと、皆で協力して取り組みます。

- 手植え、手刈り、天日干し -

参加について…。

まずは関西大学佐治スタジオの「棚田88物語Project」にご登録下さい！

メールもしくはFAXにてお申込み下さい。

佐治倶楽部事務局(担当：出町)

Email ⇒ saji.club@gmail.com

FAX ⇒ 0795-86-7078

①代表者の氏名

②参加予定人数

③連絡先 (Email か電話番号)

お米の収穫について…。

佐治スタジオとして「約30kg」のお米が収穫できる予定です。これを佐治スタジオと参加者で分配します。分配するお米の量は下記の申し込み口数で事前に決めさせていただきます。

1口(玄米 約1kg) ~ / 1,000円/口

※お申込み口数は全体で15口が上限になります。申込が多い場合は調整させていただきますのでご了承ください。

作業について…。

毎月1回程度のペースで、作業があります。詳しいスケジュールは別添資料をご確認ください。全ての作業に参加

棚田88物語 project 2014

主催 関西大学佐治スタジオ

問合せ 兵庫県丹波市青垣町佐治 683

tel/fax 0795-86-7078



八十八の物語-棚田オーナー制度

森と関わる「居場所」作り 大路こどもの森ツリーハウス作り



地元と協働し、
材料の木材の伐採から製材、
ツリーハウスの企画から建設まで実施



アースバック工法





祭りの灯りを絶やさない

-あおがき灯りの夕べ実行委員会-

子どもたちのためのお祭りを
参加型の仕組みで継続させていく。

補助金に頼るのではなく
自分たちの手の届く範囲で、お祭りを作り上げていく。⁶⁴

沢野遊園地改修Project

関わり続けるきっかけ としての公園の再生



地元と協働し「お花見イベント」を企画
提案模型を前に地元と協議している様子





地元の若い世代が
まちに関わる仕組み



地元氷上西高校の生徒と大学生、地元のおっちゃんらで空き家を使う





氷上西高校×関西大学×佐治
土田うどん復活プロジェクト

「土田うどん」それは…

佐治の人が愛した、太くてコシのない
佐治の名物うどん。

学生、住民、氷上西高校の生徒たちと
譲り受けた製麺機の再生を目指す





氷上高校×春日町・黒井project

—丹波若者塾2010—





こどもたちと見る地域のカタチ

- 関西大学佐治スタジオ

目的 子供たちが見ている身の周りの「おもしろい場所」「いい場所」「好きな場所」「大切な場所」を、地元の大人や訪れる人たちに伝え、地域の景観づくりに子供たちの視点を取り入れよう。

テーマ 青垣中学校の周辺の魅力を発信しよう！

今年は、中学生にとってのホームグラウンド・青垣中学校を中心にその周辺の MAP 作りを大学生と一緒に作成する。
制作した MAP をもとに地元の方々とまち歩き交流会を開催し、「こどもたちの目線」で地域を見つめる機会作りを行う。

プログラム スケジュール案

STEP1

大学生に紹介してください！
青垣中学校の周りのこと。

日時 10 月中旬

内容 関西大学の学生と一緒に青垣中学校周辺を散策し、巨大 MAP にあれこれ書き込む。

STEP2

青中 MAP を作ってみよう！

日時 10 月下旬

内容 関西大学の学生と一緒に青中 MAP を作成する。後日、大学生が MAP をデータ化する。

STEP3

地元の方々と一緒に
まち歩き交流会を企画しよう！

日時 11 月 3 日もしくは 11 月下旬

内容 地元の方々に呼びかけ、中学生と一緒にまち歩き交流会を企画し、子どもたちに案内してもらう。



きらく教室

椅子の塗装と
まちなみ模型づくり





地域が主体となり空き家を活用するサークル

「佐治倶楽部」



地鳥ダイニング



BAR Saji Studio



地元住民



学生・卒業生・都市部に暮らす人

年会費3,000円で空き家を自由に使える



佐治スタジオ



本町の家



センバヤ

会議
交流会・宴会
カフェやBAR
ギャラリーなど

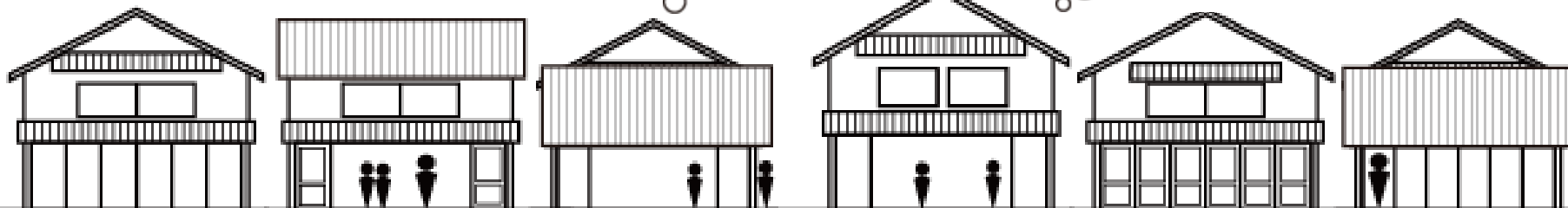
丹波に来る「理由」
故郷のような繋がり

「お試し」から「本格的な事業展開」へ

日替わりカフェ
今日は〇〇さんが
オーナー！

今日は昼からは
お料理教室や～
明日は編み物教室や

ゲストハウスの運営
学生や観光客が来てくれ
て町が少し楽しげになった





月に一回の 佐治倶楽部ミーティング

アイデアを
実践・検証できる場

佐治倶楽部

ホーム

- 佐治倶楽部とは
- 佐治スタジオとは
- 各部紹介
- 活動スケジュール
- 佐治倶楽部のつふやき
- サジサジ資料館
- リンク集
- スポンサーのみなさん
- 活動日記(ブログ)
- アクセス
- お問い合わせ先

佐治倶楽部

佐治倶楽部は、
兵庫県丹波市青垣町佐治を拠点に
活動する空き家活動サークルです！

←佐治スタジオの
活動ブログ「sajisaji」

←佐治スタジオの
Facebookページ

活動カレンダー

佐治倶楽部カレンダー

2015年 12月



SAJI GUERRILLA GARDEN MARKET





空き家の活用と
そこから生まれるつながり。



cafe&dining 佐治倶楽部

PIZZASTUDIO

2/2 (土)

@関西大学佐治スタジオ

ピザ窯が焼く!

薪をくべたピザ窯で焼く、アツアツ&カリカリ&とろとろピザはいかが?

寒夜に PIZZA 18:00-21:00

- ピザ・ゴルゴンゾーラ (ブルーチーズとエリンギの大人なピザ)
- シカ肉のミートソース
- ピザ・クラシカ
- トマトソースのピザ

ピザ4種 食べ放題+野菜スープ+サラダ 飲み物(2杯つき) **2,000円** 中学生以下1,000円

※ソフトドリンク各種、ビール、ワイン等BARも開催!

お昼の PIZZA 11:00-16:00

お問合せ 佐治倶楽部調理部
TEL 0795-86-7078(予約ok)





地域外へ発信

丹波が都市を元気にする。

都会の丹波人へ届け。

丹波と関わるきっかけ作り。





丹波コミュニティ ツーリズムの社会実験

都市部に暮らす人が「関わり続ける」
きっかけとなるツアー作り

「故郷に帰って来た…」感を
持ってもらうために





地域の魅力は現地で感じる
地の物はその土地で





団地と丹波が繋がる



八幡市男山団地「だんだんテラス」開設



大阪府平野区瓜破東住宅実験改修



もともとの空間を活かした
必要最低限の改修を

Project OSC
宙に浮かぶ1000のかざぐるま

都市と丹波が繋がる



その場所の良さを引き出すこと。⁸⁶

【事業の経緯】

2006年09月 日本建築学会近畿支部設計競技が佐治を舞台に実施
関西大学チームの提案が「丹波市長賞」に選出、提案の具体化へ

2007年04月 建築学科建築環境デザイン研究室で活動の開始

2007年06月 「関西大学佐治スタジオ」開設

2007年07月 関西大学と丹波市がまちづくりに関する連携協定を締結

2007年10月 平成19年度文部科学省現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代G P)に採択

2007年11月～「関西大学佐治スタジオ」空き家リノベーションなど滞在型講座の展開

2009年04月～地域主体による空き家活用の仕組みの検討ワークショップ
「本町の家(本町ゲストハウス)」の空き家リノベーション1期(2010年3月)

2010年03月 「現代G P」の事業終了

2010年04月 関西大学と丹波市の予算で現代G Pの事業継続

2011年01月 空き家活用サークル「佐治倶楽部」発足

2012年04月 関西大学が「佐治倶楽部」に関西大学佐治スタジオの運営管理を業務委託

2014年07月 「本町の家(本町ゲストハウス)」空き家リノベーション2期開始

2014年08月 関西大学長と丹波市長が2015年度以降の活動

2015年04月 関西まちづくり賞受賞

2015年10月 リデュース・リユース・リサイクル功労者等表彰 文部科学大臣賞受賞

関わり続ける定住のカタチから…。

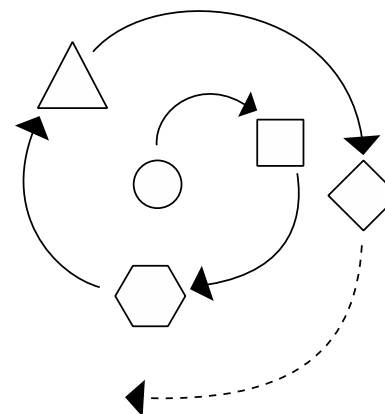
新しいR＝渦巻きのカタチ

継続できる環境づくり

時間をかけてじっくりと

地域資源の発見と活用

地域の意識を変えていくこと



・ 継続と発展の流れ



関わり続ける定住のカタチから…。

答え」をすぐに出さないこと。

目の前のことに誠実に向き合う」こと
動きながら考える」こと
いっしょに考える」こと

場所がある」こと

小さな変化」の積み重ね

「とりあえずやってみる」こと

過程をデザインする

作ることを目的化しない。
作ることは手段だ。

アイダの空間」をデザインする

素材と素材
都市と農山村
山と建築
人と人
人と空間
集落と建築



関西大学
佐治スタジオ

